

斑点米カメムシ類の防除徹底を！

～水田内外の雑草防除が決め手！～

【H28年産米の検査結果(H28年12月末現在、東北農政局秋田県拠点調べ)】

一等米比率は **92.0%** となっているが、2等以下の格付理由は、
“着色粒(カメムシ類)” が **69.3%** で **第1位** となっている



＜カメムシ防除のポイント！＞

① カメムシの **発生源・繁殖場所** をなくす！

💡 水田内雑草管理の徹底！

カメムシ防除は
春先からスタート！



【県内の主要なカメムシ類 “アカスジカスミカメ”】



・ **ノビエ** や **ホタルイ** 類の穂を好みます！

➔ これらが残草すると、侵入を助長してしまうので、
除草剤を適期に散布し、徹底的に防除しましょう！

🚩 **オススメ!!!** 昨年、残草が多かった方に！

初期剤(田植同時or直後散布) + 初中期一発剤の体系処理！

💡 畦畔・農道の雑草管理

- ・ 畦畔・農道の草刈りは **出穂10日前まで** に実施
- ・ 8月には出穂10日後の **本田剤散布後7日以内** に草刈りを実施

② **本田カメムシ剤を適期に散布** しましょう！

1回目: **出穂期10日後頃** → **スタークル液剤10・粉剤DL**

2回目: **出穂期24日後頃** → **キラップ粉剤DL、フロアブル**

※ 休耕田等の発生源が隣接している、またはノビエ等が水田内に残草した場合は、
必ず2回散布を行いましょう！

お問合せは 生産資材部 肥料農薬推進課 018-880-1624 へ



JA全農あきた

営農支援部
営農支援課

TEL018-864-2462